

宮本 佳幸さん (34歳)  
田賀 杏奈さん (37歳)

海士さん (8歳) =本町3=



勝山の魅力に惹かれて

第13回目は、「ふるさと勝山ステイホーム」(お試し移住体験施設)事業を活用し、移住を決めた越前市出身の宮本さんと鯖江市出身の田賀さんにお話を伺いました。

▶Iターンしたきっかけは

子どもが「かつやま子どもの村小中学校」に通っており、これまでは、寮生活をしてきましたが、もっと子どものそばにいたいと思い、奥越地域への移住を考えていました。

▶勝山を選んだ理由は

移住先を検討していた時「ふるさと勝山ステイホーム」事業を知り、しばらく住んでみることにしました。住んでみると勝

山の壮大な山や川、広い空など豊かな自然や静かな環境に惹かれました。また、生活がしやすいこともとても魅力的です。

勝山で仕事も見つかり、職場の方々のアットホームな雰囲気や優しさも決め手の一つとなりました。

1か月ほど前は、方向も分からず不安でしたが、今は勝山がとても気に入っています。

▶勝山に来て思ったことは

これまででも恐竜博物館などには行きましたが、勝山の美しい自然や街並みなどは知りませんでした。

私たちと同じように勝山に来て、勝山の魅力を知らずに帰っ

てしまっている方がいると思うと勿体ない気がします。もっと大勢の方に素敵な勝山の自然や街並みを知ってもらいたいと思っています。

8月は「ふるさとを想い、ふるさとを応援する国民運動月間」です

ふるさとを応援するあなたの「こころ」がふるさとを元気にします。ふるさと納税は寄付というカタチで勝山市を応援できる制度です。

お問い合わせ・お申し込みは  
ふるさと創生・移住課(市役所2階)へ  
☎88-8130

「越前国名蹟考」には、菅渡旧跡は「大渡は昔泰澄白山禅定の時、此川を助清と云う百姓の蓋に乗せ渡したるに依り菅の渡と云う」此川の西方黒竜川の流を菅渡と云うとある。近世においては「箱渡船組」として九頭竜川兩岸の、幕府領・郡上領・小笠原藩領・大



明治35年の舟橋



現在の下荒井橋

野藩領の村々百余か村が船組を結成。船米を出し合い、新船を仕立てる場合も村高に応じ負担して運営されていた。近代に入り架橋計画があつたが明治29年(1896)の大洪水で流れ、同35年橋長約95m、幅3mの舟橋が完成した。その後、大正元年(1912)に木造の吊橋が架設された。以後洪水の度に流失を繰り返した。昭和14年(1939)、下荒井で九頭竜川の水を取水する発電所計画が具体化し、あわせて下荒井橋も改修された。戦後になり橋の鉄骨化が図られたが大野勝山間の交通量の増加、車両の大型化に対処するため、橋の架け替えと下荒井トンネルの掘削が認められ、同44年工事が完成した。

今回は、大渡区と下荒井区を結んでいた「菅ノ渡」を紹介いたします。

ふるさとを訪ねて

地域文化を掘り起こそう

市史編纂室 山田 雄造

こどものワクチン事情

福井勝山総合病院  
小児科部長 森 夕起子

ワクチンとは、感染症の原因となる病原体の毒素を弱めたり無くしたりしたものです。ワクチンを接種すると、体は感染症に抵抗する免疫を記憶します。そして、いざ本場に病原体が体の中に入ってきたときは、素早く免疫が守ってくれるので病気がかからずに済みます。世の中には多数の感染症による病気がありますが、ワクチンで予防できる病気が20種類程度です。日本では約10種類が「定期接種」に定められており、原則、費用は地方自治体から支払われますので無料で接種が可能です。一方インフルエンザワクチンなどの「任意接種」は、接種に必要な費用は個人が負担します。麻しんや水痘などの感染力の強い感染症では、一度かかってしまえば一生免疫が続くので二度かからないと考えられています。そこで、ワクチンをせずに自然にかかった方がよいと考える方がいらつしやるかも知れません。しかし、自然にかかった場合には合併症(肺炎や脳炎など)を起こす危険性もあります。自

分が周囲にその病気を広げてしまうこともあります。何度が心配とおっしゃる方もおられると思いますが、予防可能な病気はワクチンで予防するのが最善の方法です。生後2か月からワクチンデビューです。ヒブと肺炎球菌ワクチンは乳幼児の細菌性髄膜炎を予防します。B型肝炎ワクチンはB型肝炎ウイルスの感染を予防します。乳幼児期にこのウイルスに感染すると効率に持続感染(キャリア状態)するため2016年10月から定期接種となりました。4種混合ワクチンは、破傷風・ジフテリア・百日咳・ポリオを予防します。BCGは結核を予防します。1歳になると麻しん・風しんワクチン、水痘ワクチンを受けていきます。任意接種にはなりますが、ロタウイルスワクチンとおたふくかぜワクチン、インフルエンザワクチンもお勧めしております。当院でもワクチン接種を行いますので、お気軽にご相談ください。



勝山公民館 展示コーナー

◆佐々木秀一さんのジオラマ作品展

昔なつかしい町内の風景に好きな電車を走らせています。心温まる作品をご覧ください。  
展示期間▶8月13日(月)~26日(日)  
※19日(日)教育会館休館日



◆子どもたちの灯りまつり絵画展

成器西・成器南小学校児童の皆さんが描いた絵を展示します。



展示期間▶8月27日(月)~9月9日(日)  
閩勝山公民館(教育会館1階) ☎88-0800



行ってみよう 湯ったり勝山

7月のマイステージは、「押し花を使った作品作り」の体験を行いました。コースターやしおり、万華鏡を作りました。皆さん、色とりどりの押し花を使用し、作品を作られていました。



8月19日(日)のマイステージは、午前10時~11時30分「色えんぴつ教室~くだものを描こう~」、午後1時~2時30分「湯ったりカラオケ」の予定です。皆さまのお越しをお待ちしています。

申・閩 地域包括支援センター「やすらぎ」(すこやか内) ☎87-0900

人口の動き

|     | 6月末現在   | 自然動態 |     |     | 社会動態 |     |    | 7月末現在   | 月間増減 |
|-----|---------|------|-----|-----|------|-----|----|---------|------|
|     |         | 出生   | 死亡  | 計   | 転入   | 転出  | 計  |         |      |
| 男   | 11,192人 | 1    | -17 | -16 | 12   | -19 | -7 | 11,169人 | -23人 |
| 女   | 12,298人 | 11   | -16 | -5  | 20   | -21 | -1 | 12,292人 | -6人  |
| 合計  | 23,490人 | 12   | -33 | -21 | 32   | -40 | -8 | 23,461人 | -29人 |
| 世帯数 | 7,956世帯 |      |     |     |      |     |    | 7,956世帯 | 0世帯  |

8月の納税

市・県民税▶第2期  
納期限▶8月31日(金) 口座振替▶8月27日(月)

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

| 件数内訳        | 平成30年7月末 | 前年比     |
|-------------|----------|---------|
| 総件数         | 254件     | -34件    |
| 人身事故(うち高齢者) | 12件(6)   | +2件(±0) |
| 死者(うち高齢者)   | 0人(0)    | -1人(-1) |
| 傷者          | 14人      | +3人     |
| 物損事故        | 242件     | -36件    |